

SANKYO ENVIX

CSR報告書2022



活動期間

2022年4月～2023年3月



会社概要

株式会社サンキョウエンビックス

住 所 〒700-0945 岡山県岡山市南区米倉66番地2

代表者 代表取締役 浅野 浩一

設 立 昭和47年2月2日

資本金 1,000万円

社員数 30名（2023年3月現在）

事業内容 環境コンサルティング事業（環境管理、労働衛生）
環境サポート（環境アセスメント/届出申請サポート/土壌汚染調査/設備改善）
環境管理支援業務（大気/水質/騒音・振動/廃棄物/作業環境など）
環境関連設備機器及び消耗品機器、薬品等の販売



目次

1. 経営指針（環境経営方針）	・ ・ ・ 03
2. 会社業績	・ ・ ・ 05
3. 管理体制	・ ・ ・ 06
4. 経営目標及び達成状況	・ ・ ・ 07
5. 経営目標達成への取り組み及びその評価	・ ・ ・ 09
6. 代表者による総括	・ ・ ・ 18
7. 中期経営計画（企業価値の向上計画）	・ ・ ・ 20

企業ドメイン

『よりよい環境を創造する』

私たちは、地球と人間と産業とが調和し、共生できるよりよい環境を創造し、社会に貢献できる企業を目指します。

経営理念

- 一、私たちは、関わる全ての人々と信頼しあえる関係を築き、相互に成長し発展できる価値を創造します。
- 一、私たちは、人からあてにされる人間集団となり、生きがいと働きがいの持てる会社を目指します。
- 一、私たちは、環境の専門家としての技術や企画提案力を持った環境コンサルタントを目指し、社会に貢献します。

行動指針

- 1. 私たちは、必ず約束を守ります。
- 1. 私たちは、明るく気持ちのよい対応をします。
- 1. 私たちは、快適な環境を積極的に維持します。
- 1. 私たちは、新しいことに挑戦します。
- 1. 私たちは、学び、協力し合って活動に取り組めます。

経営方針

- 1. 強い組織をつくる。
- 1. 未来を築く人財を育成する。
- 1. 明るく楽しく活気ある職場、笑顔ある職場をつくる。
- 1. 新たな事業の柱をつくる。
- 1. 顧客ニーズの創出と提案営業を充実させる。
- 1. 地域社会の一員として社会に役立つ活動を推進する。

基本姿勢

社員は、当社存続の目的を追求していくために労働力を提供し対価を得ていることを理解する。そして、企業価値を高めていくための職場づくりと認識し、共に働く中で時代の変化を楽しみながら、健全に活動していく環境をつくり、社員一人ひとりが「生きている」と実感できる取り組みを促進する。

- ◇共同生活の場であり、協力し合って楽しめる場とする。
- ◇働く環境づくりを優先し、お客様へは公正に対応する。
- ◇安心して安全に楽しめることを自らが設定し実践する。
- ◇時間外労働が当たり前の体質は変える。
- ◇法令と就業規則を守り仕事をする。
- ◇家族へ与える影響に配慮する。

笑顔ある職場づくりの活動

気付きを通して自分磨きから始まった**3S活動**。新たな節目である今だからこそ、時代に取り組んだ想い、描いた姿、大切にしたい心を今の時代に伝え、100年輝業を目指して未来につないでいく。

これまでの3S活動の〈よきもの〉を伝える（温故知新）

整理…究極に必要なものを大切に
（コスト、無駄の削減）

清掃…いつでも状態がわかるように
（破損防止、凡事徹底）

整頓…直ぐに使えるように
（時間短縮、有効利用）

清潔、躰…モラル・マナー、身だしなみ
・言葉使い、お互いの調和

これからは3つの着眼点でとらえる

◇**人**（モラル・マナー、身だしなみ・言葉使い、お互いの調和）

◇**モノ**（大切に扱う、破損防止、有効利用）

◇**お金**（コスト削減、ムリムダ、時間短縮）

⇒

品質
（いい仕事）

×

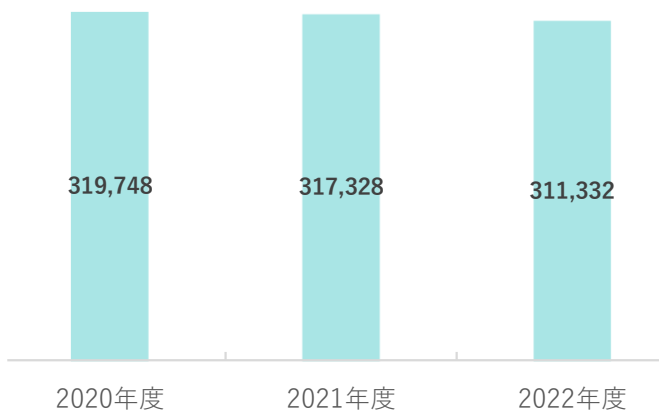
環境
（いい地域）

×

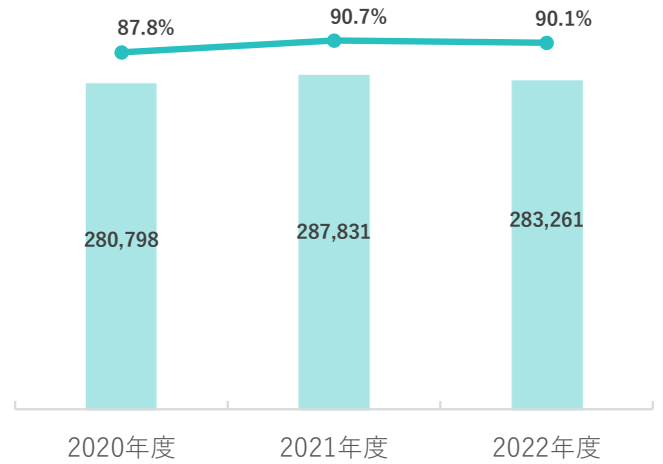
安心安全
（いい職場）

会社業績

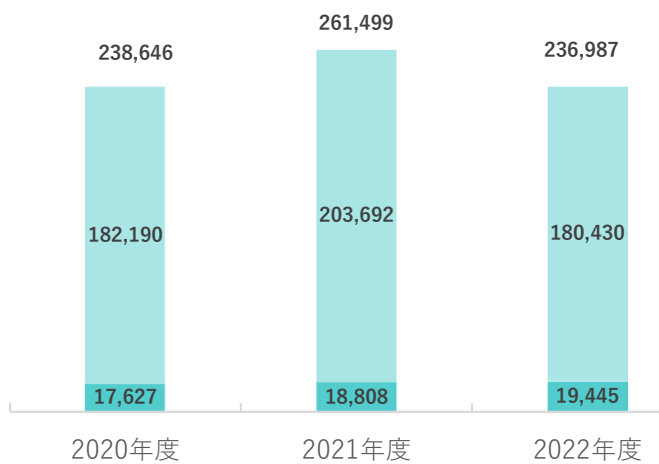
■売上高（千円）



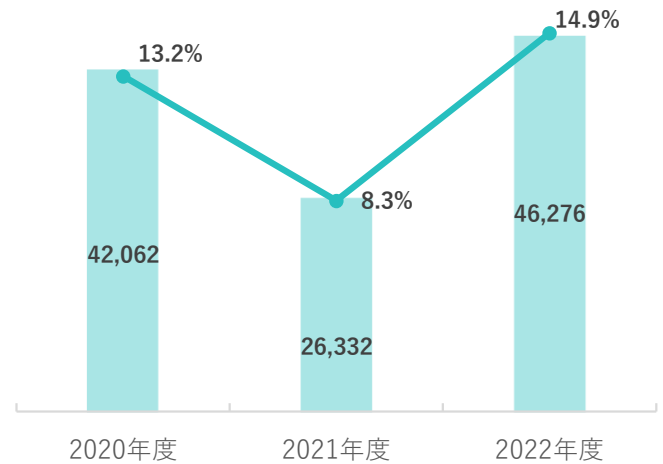
■付加価値額（千円）
●付加価値率（%）



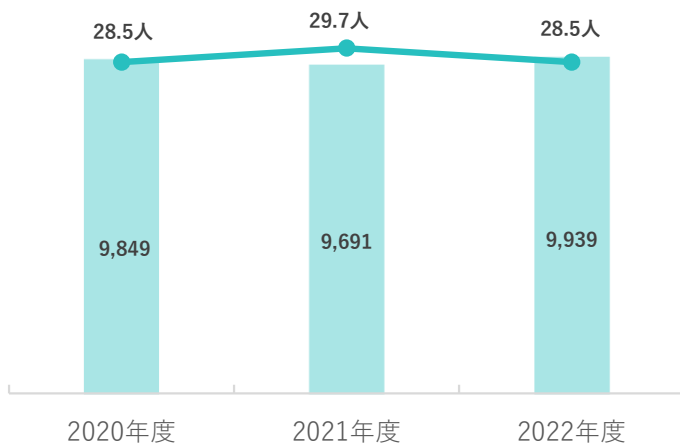
■販管費（千円）
■人件費（千円）
■減価償却費（千円）



■営業利益（千円）
●営業利益率（%）

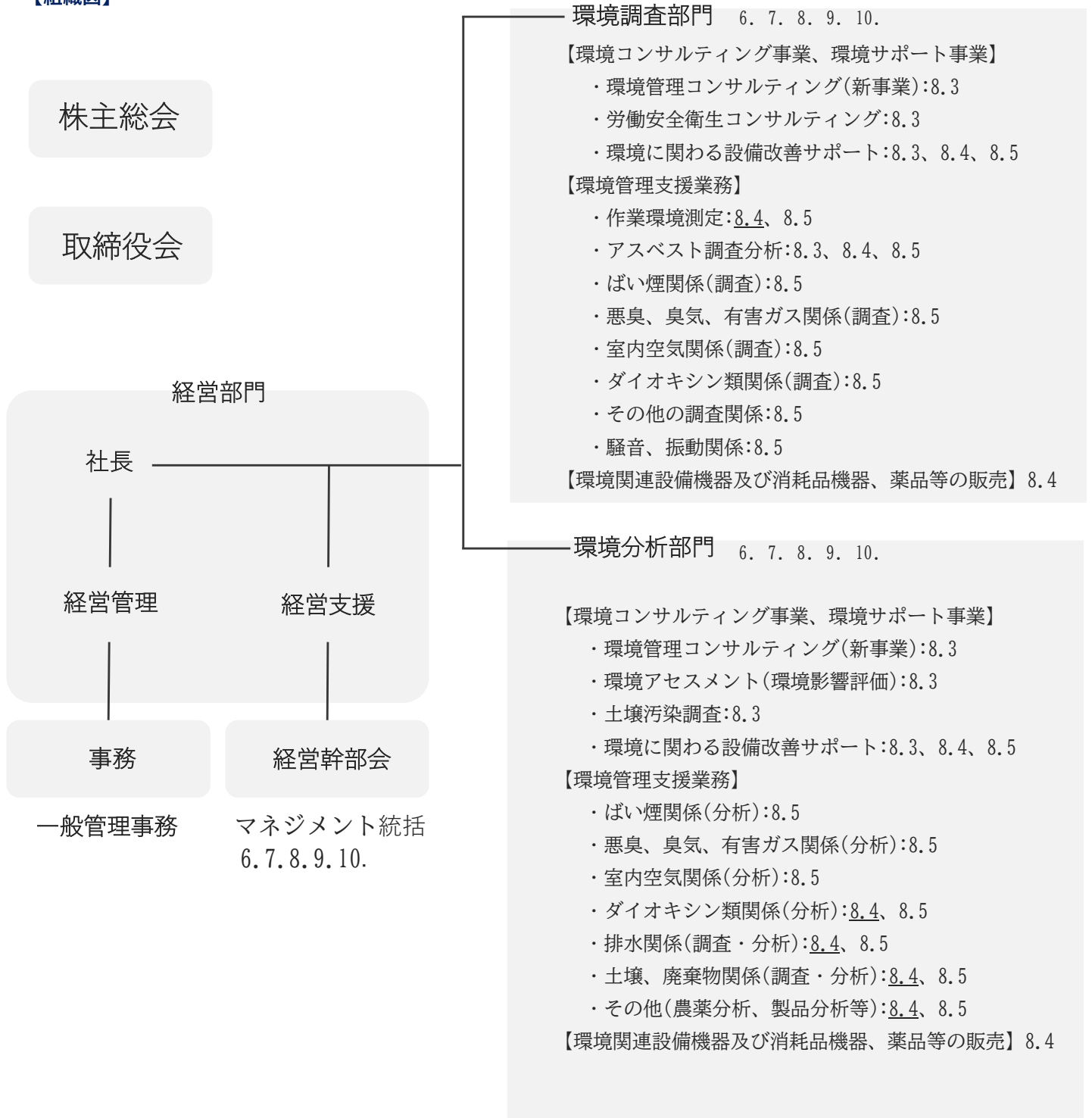


●社員数（人）
■一人当たりの付加価値額（千円）



管理体制

【組織図】



【固有の役割】⇒法令遵守一覧表（事業関連）

- ・ 社内環境管理、安全衛生管理：経営支援及び経営幹部
- ・ 環境計量証明事業：計量証明事業規程に記載する
- ・ 作業環境測定機関：作業環境測定機関登録に記載する
- ・ 土壌指定調査機関：土壌汚染状況調査等業務規程に記載する
- ・ 建築物飲料水検査：登録申請書に記載する

※安全管理、環境保全管理については、「認定資格一覧表」及び「法令順守一覧表」で明確にする。

経営目標及び達成状況

評価・問題・課題

Plan

経営目標

【企業価値評価】

- ・銀行評価（2銀、1公庫）
- ・社員評価（社員満足アンケート）
- ・顧客評価（顧客アンケート）、
協力業者評価（業者アンケート）
- ・地域評価（表彰、投稿、補助金、助成金、発表、講師）

- ・統合MSの認証、BC連携の本格運用
- ・統合MSの定着
- ・中期経営計画（経営戦略）策定への準備
- ・営業利益：31,000千円以上
- ・正社員平均年収：4,100千円以上（21人）

Do

◎社員評価（社員満足アンケート）向上

委員会活動やクラブ活動をより活性化させ、明るく楽しく
活気ある職場、笑顔ある職場をつくる。
社員満足アンケートでの評価を向上させる

- ・委員会活動の活性化
- ・社員の安心安全（無事故、無違反、無破損）
- ・倶楽部活動の活性化

Do

◎顧客評価（顧客アンケート）向上

◎協力業者評価（業者アンケート）向上

企画開発、提案営業を通して新たな事業の柱をつくる、
顧客ニーズの創出と提案営業を充実させることを目指す。

- ・新事業を展開で数値目標を達成
- ・提案営業で数値目標を達成
- ・付加価値額：291,000千円販売

Do

◎顧客評価（顧客アンケート）向上

◎協力業者評価（業者アンケート）向上

◎地域評価

（表彰、投稿、補助金、助成金、発表、講師）

日常管理・時間創出を課題と捉え、チーム力の向上
お客様と向き合う時間を確保する。

地域社会の一員として社会に役立つ活動を推進する

- ・一人当たり付加価値額：9,700千円（30.0人）
- ・時間当たりの付加価値額：4,403円/h（全社平均）
- ・時間外労働：45時間/月、有給休暇：70%以上

Do

- ・表彰されている
- ・マスコミに取り上げられている
- ・依頼され講師や発表をしている

Do

結果

- ・統合MSの認証達成、BC連携の運用準備は2つ進捗
- ・統合MSは9章と10章の運用が機能不足
- ・中期経営計画（経営戦略）策定への準備は来期の上半期へ
- ・営業利益：46,274千円程で達成
- ・正社員平均年収：4,710千円（正21人）達成

- ・委員会活動は活性化しつつある
- ・社員の安心安全（事故4件、違反3件、破損66件）
- ・倶楽部活動は活性化している

- ・新事業を展開で数値実績は857千円で完敗
- ・提案営業で数値実績は98,675千円で惜敗
- ・付加価値額：280,318千円見込みで惜敗

- ・一人当たり付加価値額：9,836千円（28.5人）で達成
- ・時間当たり付加価値額：4,768円/h（全社平均）で達成
- ・時間外労働：33時間44分/月、有給休暇：平均65.5%

- ・表彰1件（令和3年度 日測協標語の佳作）
- ・マスコミに0件、投稿は2件
- ・依頼され講師や発表は2件

評価

Check

ISO9001に加えISO14001の仕組みを取り入れた統合マネジメントシステムの認証を受け、法人として存続していくための会社体制が見えてきた。

資産・財務・組織・事業など、会社を存続させるための投資や戦略を決定していける機能を充実していけると見ている。企業の価値向上を目指して利害関係者からの見解を獲得することが出来つつある中で、会社としての成長率が高まらないことに課題がある。

専門家集団として営業・調査・分析・制作・検査に関わる全ての社員の力量を高めていかなければならない。専門技術サービス業であることを再認識し組織体制を見直し、有資格者の増強を図る策を講じる。

委員会活動・倶楽部活動共に取り組みが目立つようになった。コロナ対策も少しずつ規制が緩和する中で、外部との繋がりや外部からの見学の対応、合同5Sの取り組み等、来期の計画に盛り込んで更なる活性化を図っていく。また、年間休日が増えたことにより活動時間の創出が課題となる。

新しいサービスの立上げから新しい事業の開発に向けての体力づくりを進めているが、売上高の成長は見られない。環境法令順守のサービスや職場環境改善に繋がるサービスの展開を進めていく。社会ニーズのあるエネルギーに関するサービスは人員不足のため構築できず凍結となり非常に残念である。

日常業務やイベントが多い中で、時間外労働削減及び有給休暇の取得は頑張っている。ただし、日常業務において予実管理が出来ておらず、生産性から見る改善の機会を失っているのは課題である。様々な利害関係者との互惠を活かし、今後のビジネス展開も視野に入れ、更に関係を強化していく。

委員会活動・倶楽部活動を通じて、地域社会の一員として定常的な清掃活動等は継続的に実施できている。コロナ対策の規制緩和に伴う野外活動や外部との繋がりを活性化し参加者が増加することを期待する。

組織

認証・認定

2022年は、現在までに継続して取得している、「次世代育成支援認定マーク（くるみんマーク）」「岡山県BCP認定制度」「健康経営優良法人」に加え、「**統合マネジメントシステム**」の構築と「**事業継続力強化計画認定制度**」の策定に取り組みました。

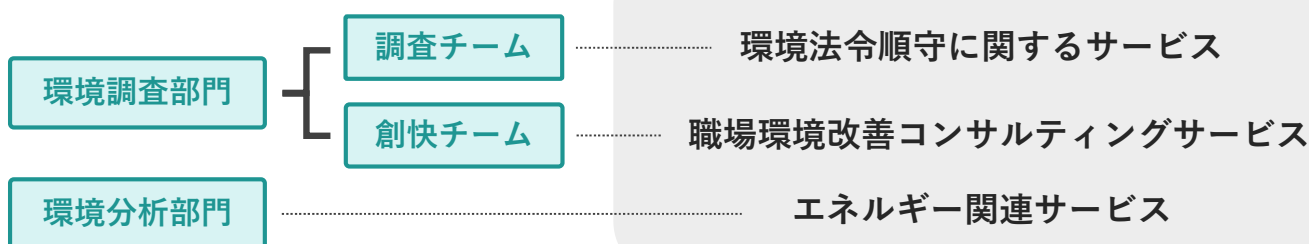
「統合マネジメントシステム」はISO9001:2015(品質)とISO14001:2015(環境)の2つの国際規格を統合認証し、企業価値を追求し永続的に存続するためのマネジメントシステムを構築するためのものであり、企業ドメインを追求するための統合マネジメントシステムを運用しています。

「事業継続力強化計画認定制度」は中小企業が策定した防災・減災の事前対策に関する計画の認定制度です。当社では同業者と連携し、災害発生時だけでなく、平時においても困ったときに相互に支援しあう「お互い様連携」を目指し、それぞれの地域で継続的に貢献できるように取り組んでいきます。



事業

企画開発テーマ



2022年は環境商社チーム、創快チーム、環境分析部門それぞれが環境の変化を捉えたテーマを設定し、新しいサービスの展開を目指し顧客の声を拾い上げる活動に取り組みました。

お客様に寄り添い、様々な困り事を解決すべく活動したことで、創快チームは職場環境改善コンサルティング物件を1件獲得することが出来ました。

引き続き、付加価値を高めるビジネスモデルの構築を目指し活動していくと同時に、私たちの提供するサービスが社会に役立ち、貢献している専門技術サービス業であることを再認識し、技術管理のできる有資格者の増強を図る策も講じていきます。

(2) 法令遵守

公正な事業慣行

当社は各環境法令を遵守しており、環境関連法規の違反や起訴等、過去10年以上ありません。
また、事業活動を行う上で、各行政機関へ事業登録をしており、定期的に事業報告を行っています。
各行政機関への登録は以下の通りです。

事業登録：計量証明事業登録
岡山県 - 第6-2号（濃度）
岡山県 - 第7-4号（音圧）
岡山県 - 第8-2号（振動）
作業環境測定機関登録 岡山労働局 第33-4号
土壤汚染対策法に基づく指定調査機関 環境省2020-6-0001
建築物飲料水分析 岡山県15水第13号

併せて、お客様に安心してデータをご利用いただくために「精確（accuracy）な数値」を提供していただけるよう定期的に「精度管理」を行い、ホームページへ結果を公開しています。今後もお客様が信頼できる「精確な」試験結果を自信をもって提供できるよう技術力を高めていきます。

精度管理

内部精度管理

内部精度管理は社内の標準試料を繰り返し試験し、試験結果のばらつきを管理します。このばらつきを「精度(precision)」といい、ばらつきが小さいほど「精度が高い」ことになります。2022年度内部精度管理は水質試料においてヒ素・鉛など金属分析やふっ素分析など計5項目、ばい煙測定にて二重測定やトラベルブランク試験等を実施しています。結果は全ての実施項目において満足する値となっています。

外部精度管理

外部精度管理では、外部団体が行う技能試験に参加し、他の試験機関との試験結果より、真の値(又は参照値)とのかたよりを管理します。このかたよりを「真度(trueness)」といい、かたよりが小さいほど「真度が高い」ことになります。「精度」と「真度」を高めることで、お客様が信頼できる「精確な」試験結果を提供できます。

2022年度外部精度管理は例年通り、日本環境測定分析協会の技能試験と日本環境衛生センターの統一精度管理調査、日本作業環境測定事業の総合精度管理を実施しています。結果は各機関の報告書、当社ホームページにて定期的に公開しております。

統合マネジメントシステム

昨年よりISO9001の仕組みとISO14001の規格要求事項から相互の規格対比を行い、統合マネジメントシステムを構築していくために、ISO統合認証プロジェクトを経営幹部が中心となり動かしてきました。

2022年11月に、ISO9001:2015年版とISO14001:2015年版の統合認証を取得することができました。ISO9001(2015)より、第三者証明機関としての品質(精度)を追求し、リスクと機会に挑戦できる経営基盤の強化を図っていきます。また、ISO14001(2015)により、事業活動を通じて様々な形で影響を与えていることを認識したうえで、環境負荷低減に努め、地域にとって経済的に有益な環境活動を推進していきます。

(3) 安全衛生

環境管理計画

4つの環境配慮設計

1.環境法令の遵守

- ①環境法令に関する知識を継続的に学習する
- ②該当する環境法令の管理を手順通り実施する。

2.新事業開発

- ①環境法令を基盤とした事業及びサービスを展開する
- ②環境保全及び環境配慮に関する事業及びサービスを設計する

3.環境負荷の低減

- ①過剰な産業廃棄物を低減する
- ②エネルギーの使用を抑制し、二酸化炭素の排出量を低減する

4.岡山地域への有益な環境活動

- ①お世話になっている近隣地域で5S活動を実施する
- ②地域に根差す若者を通じて環境教育を実施する

統合マネジメントシステム(ISO統合認証)を受け、環境事業方針を策定しました。

環境事業方針の基本姿勢を以下のように打ち出しています。

「当社は、企業価値を追求し永続的に生きていくために環境法令を順守し、岡山地域の問題や課題を解決していける高付加価値の事業を提供し続ける。既存事業は様々な負荷をかけながら活動している。活動の結果として環境に影響を及ぼす負荷も発生させていることを自覚し環境負荷の低減に努め、岡山地域での有益な環境活動を推進する。」

以下4つの環境配慮設計のもと環境管理計画を実行しました。

1. 環境法令の遵守
2. 新事業開発
3. 環境負荷の低減
4. 岡山地域への有益な環境活動

当社の強みを生かし、お客様へ満足していただけるサービスを確立し、安定供給できるよう進めていきます。

社内安全環境の日



当社は5月22日を「社内安全環境の日」と設定しています。2022年は5月24日に安全と環境に関する研修会を全社的に行いました。

環境研修は「環境（いい地域）を学ぶ」「違反ゼロに向けて違反とはなにか？」のテーマで環境法令違反について理解を深め、違反した場合は利害関係者をはじめ地域社会に大きな影響を及ぼすことを学びました。

安全研修では過去の事故やヒヤリ・ハット事例を模擬的に再現し、危険体感教育を行いました。体感することで自身の業務における危険を知り、今一度安全に対する意識を全社的に高めることができました。

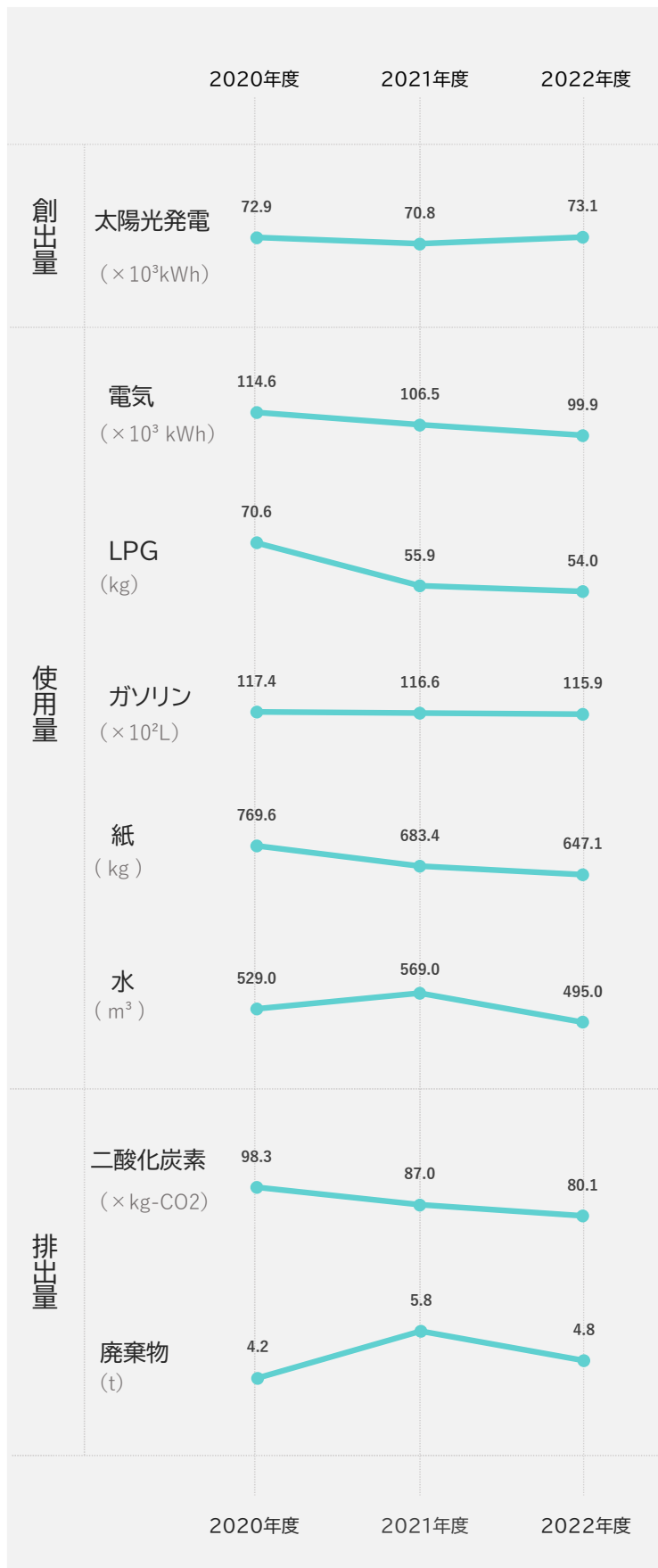
防災訓練



10月25日に防災訓練を実施しました。2022年度の目的は『地震発生からの対応の再確認』です。訓練を通して、災害のシナリオに応じた避難計画や災害レベルに応じた避難行動等が定まっていなかったという課題が見つかりました。命を守る行動が第一ですが、災害時の火元確認や被災者の救助要請等、責任者だけでなく訓練に参加した全員が自発的に声掛けや報告をし、二次災害を防ぎながら行動することを考えていかなければなりません。また、事業を速やかに復旧するために必要な持出物についても再検討してまいります。

(4) 環境活動

環境負荷の軽減



低炭素社会運動

当社は岡山県の「COOL CHOICE」に賛同し、クールビズ・ウォームビズはもちろん、こまめなスイッチオフによる節電や、紙の節約などを進めています。2022年度もクールビズ・ウォームビズ県民運動やライトダウンキャンペーン、スマート通勤おかやまに登録・参加し、社内での啓発活動に取り組みました。



ライトダウンキャンペーン期間(6/21~7/7)はポスター作成・掲示・呼びかけを行い、6/21(夏至)及び7/7(七夕)を特別実施日とし、退勤目標時刻18:30に設定し全員で協力しながら達成できるよう業務を遂行することができました。

スマート通勤おかやまには社員10人、延べ74日実施し、二酸化炭素排出量を約62kg-CO₂削減、ガソリン消費を約27リットル削減することができました。これからも低炭素社会の実現を目指して、社員一人ひとりが「COOL CHOICE」をし、身の回りから「地球にいいこと」「賢い選択」に取り組んでまいります。



(5) 職場改善

働きやすい職場づくり

当社は環境分野が未経験でも知識・技術を磨いて活躍できる人を育てていく仕組み・各種研修の充実に取り組んでいます。新入社員研修では、就業規則や人事制度、福利厚生などの規則・制度に加え、安全教育、コンプライアンス教育など幅広い研修を実施し、一人ひとりが当社の社員としてのみならず、社会人として自立し適切な行動ができるよう教育を行っています。また表彰制度を設け、社員が他の模範となると認められる行動をとったとき、部門または個人単位で顕著な成績、貢献のあった場合には年に1回表彰しています。2022年は永年勤続4名、営業に関わる賞3名、改善に関わる賞4名を表彰しました。

合わせて働きやすい職場づくりを目指し、ワークライフバランスをテーマに就業規則を充実させ経営目標を設定し取り組み続けています。



評価基準策定計画



2022年度は昨年まで人事評価で利用していた成長の道標を一新し、社員一人ひとりの成績表として「あゆみ」を動かせるよう、役職者を中心とした認定基準表の完成と、労働委員会メンバーが中心となり成長を導くことのできる指標「成長の道標」の完成に向け、新たなプロジェクトに挑戦した年でした。

労働委員会は若手社員中心の構成で、成長基準策定プロジェクトと銘打ち、「企業価値を高められる人財」「利益を上げる事ができる人財」「利潤を追求できる人財」の3つの視点を念頭に置き、経営理念に沿って継続的に成長できる基準となることを目指し、成長の道標の作成を進めました。プロジェクトの過程で人の成長を考える難しさに直面し、なかなかスケジュール通りに進まず悩む日々を経験できたことは私たちの成長の糧となっています。

今年度作り上げたものを基に、次年度には認定基準を更新し、昇給・昇格を査定できる基準を作り上げられるよう引き継いでいきます。

社員の健康維持・増進



当社は社員の心と身体の健康づくりに向けた取り組みなど、継続的に健康経営に取り組んでおり、2022年に引き続き、【健康経営優良法人2023】として認定をいただきました。

合わせて2022年度は社員の健康維持・増進を推進していくための取り組みの一つとして、休憩時間や就業前後の好きな時間にトレーニングルームを利用しやすいよう、1階倉庫内にトレーニングルームの移設工事を行いました。

週末クリーンリサーチ



笑顔ある職場づくり委員会を中心に2022年10月以降、毎週末に社内の3S状況を確認するクリーンリサーチを実施しました。整理・整頓・清掃された状態を常に維持することは難しく、同じような指摘事項が続く中で、3Sの水準を全社的に一致させることの難しさも感じています。しかし快適な環境を積極的に維持していくことは、安全で安心な仕事ができることに繋がります。引き続き、「あの会社はショールームみたいだ!」と言われることを目指して行動してまいります。

社内イベント



2022年度は外部講師をお招きし社内のイベントを2回（ポーセラーツ作り、備前焼体験）開催しました。

ポーセラーツ作りでは「価値のあるものを生み出す→評価する」をテーマに各自作成した器を社員間でオークションするという新しい試みにもチャレンジし、どの作品も個性豊かで味のある逸品に仕上がりました。

外部講師をお招きすることで視野が広がり新しい気付きや社員の新たな一面も見られ、充実した時間となりました。

花壇・ビオトープの新設



50周年記念式典に伴い記念植樹を行うにあたって花壇の造成を行い、玄関前に設置していた睡蓮鉢ビオトープが2倍程度のビオトープに生まれ変わりました。新しいビオトープには岡山県内で見られる動植物を追加し、環境を整えていく計画を立てています。記念樹であるアオダモとビオトープが会社と共に成長・発展し四季折々の姿でお客様をお迎えできるように心を込めて手入れをしていきます。

50周年式典



1972年に誕生した当社は2022年に50周年を迎えました。この節目の年に、これまで繋いできた歴史を残し、未来を自分たちで築いていくことを目的として、6月10日おかやま未来ホール（イオンモール岡山）にて50周年記念式典を開催し、県内外から多くのお客様にご来場いただきました。

式典を開催するにあたり、社員の中から集まったプロジェクトメンバーは約9ヶ月に渡り悩みながら企画を進め、式典の成功に向け邁進いたしました。「エンターテインメントの場」「社員全員が主役」というコンセプトのもと、未来に向けての想いを込めた記念動画の放映を行い、業務紹介の際は社員全員が舞台上がりスポットライトを浴びました。

50年目はゴールではなく、100年続く輝業を目指して、企業ドメイン・経営理念のもと関わるすべての人々と共によりよい環境を創造できるよう進んでまいります。



児島湖流域清掃大作戦



2022年度も11月に児島湖流域清掃大作戦が開催されました。天候にも恵まれ、朝早くから多数の社員とその家族が参加し、清掃活動を実施しました。当社は清掃会場の中でも一番参加者の多い、児島湾締切堤防会場にて参加しましたが、主催者発表で参加人数521人、約7トンのゴミが収集されている現状です。岡山地域の環境保全に貢献できるよう引き続き積極的に参加していきます。

岡山市エコボランティア活動町内清掃



2022年度も当社が所在する岡山市南区米倉地域で、4月から9月にかけて計5回（計画のうち7月は天候により中止）延べ92人が清掃活動を行いました。2022年に回収したゴミや雑草類の総量は60.6kgでした。昨年から情報発信ツールとして登録した「ごみ拾いSNSピリカ」も継続して利用しながら、引き続き地域の清掃活動を盛り上げ、地域社会の一員として社会に役立つ活動を推進していきます。

連 携



2022年度は静岡県で環境計量証明事業に携わっている株式会社サイエンス様とBCPの視点で既存サービスにおいて連携を図るための交流がスタートしました。Zoomを利用しお互いの組織や仕組みを理解することや、会社訪問をし合う中で日常業務の管理体制や手順を確認し同業者ならではの悩みや課題を共有しました。

その悩みや課題を解決すべく、より強固な関係を築き「お互い様連携」を進める事を目指し、事業継続力強化計画認定制度に挑戦することとなり、令和4年12月13日

に認定を受けることができました。事業継続力強化計画認定制度とは、中小企業が行う防災・減災の事前対策に関する計画を経済産業大臣が認定する制度です。認定を取得できたことで、自然災害や様々な緊急事態への対策や体制が整い、今まで以上にステークホルダーの皆さまにとって安心安全を提供する会社となりました。2023年度も株式会社サイエンス様と共に事業継続力強化計画を進めてまいります。

おかやま大野ダルマガエル保全プロジェクト



2022年はダルマガエル（絶滅危惧種）の保全プロジェクトを立上げて16年目となりました。近年、各イベントの中止が続いていましたが、約3年ぶりにプロジェクト協力団体として、保全田んぼ「ダルたん」での観察会2回と収穫祭へ参加し、地域の皆さんと共にダルマガエルが生息できる環境を整える活動に尽力しました。また、当プロジェクトは2022年「ダルマガエル重点保護スペース」を作るなど、持続可能な生息場を目指し整備を続けています。身近な自然環境と地域とが調和した魅力ある地域づくりに今後も貢献できるよう努力してまいります。

旭川かいぼり調査



2022年は竹枝学区ふるさと活性化協議会・旭川かいぼり調査実行委員会が主催する旭川かいぼり調査へ地域ボランティアとして初めて参加しました。当調査は、地域住民・市民と研究者が協働し、干しあげた川で生き物調査・河床調査を行い、現状を明らかにし、旭川の環境保全や自然再生につなげようという活動です。

今回捕獲できた生き物はアカザなど25種、水生昆虫はトビゲラなど27種でした。最後には参加者全員で川底の石を返し、生き物の住処となる隙間を作る「川を耕す」作業も行っています。次年度も地域社会の一員として環境に関わる活動に積極的に取り組んでいきます。

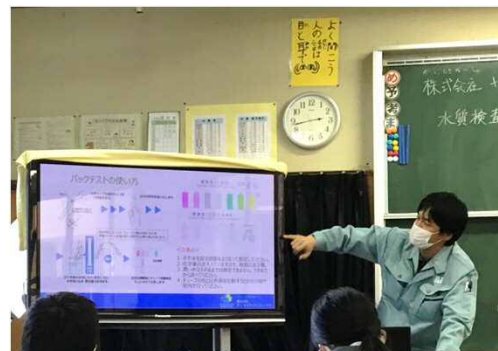
(6) 地域貢献・連携協働

企業発！みらプロ～子供たちの未来を応援するプロジェクト～

当社は2020年より岡山県教育委員会が主催する「企業発！みらプロ」に参加しています。「企業発！みらプロ」とは企業の持つ技術力、働く人の魅力、仕事で得た経験を子どもたちの学びに活かすことができるのではないかと考えから、子どもたちの学習を深め広げていけるよう、岡山県教育委員会が企業と協働しスタートしたプロジェクトです。

今年は11月18日に玉野市立築港小学校にて「水」について考えてみよう！」の学習プログラムを実施しました。このプログラムは「水」をテーマとした環境の勉強から、「自分の生活」と「身近な環境」の関わりについて勉強することを目的としています。小学校前の水路を流れる水のCOD値を、プールの水や下水と比較し、水路を流れる水が生き物にとって住みやすい環境になっているかを調べました。実験結果を見ながら子どもたちが一喜一憂する姿や我々に様々な質問を投げかける姿を見ることができました。子どもたちが身近な環境に目を向け、興味を持てる場作りをすることも私たちの職務です。

※COD（化学的酸素要求量）…水質汚濁の程度を表す指標。
数値が高いほど水中の汚染物質の量が多く、水の汚れは大きい



環境学習出前講座



（公財）岡山県環境保全事業団が運営している環境学習プラザ「アスエコ」の岡山県環境学習協働推進広場、運営委員会委員として、2022年度は環境学習出前講座を県内で6回（学童保育5回、交流センター1回）行いました。

環境学習出前講座とは持続可能な社会に向けて、一人ひとりが環境に関心をもち、環境の保全に対する意識を高め、自ら考え行動できる人の育成を目指す参加体験型の学習プログラムとなっています。

当社は「ごみ問題」を講座テーマとし、参加した小学生の子どもたちや保護者の皆様と、岡山県内のゴミの状況や海洋プラスチック問題について考え、4R（Refuse、Reduce、Recycle、Reuse）の重要性を伝えています。講座では使えるものを繰り返し使う（Reuse）体験として、廃棄物を使ったオリジナルの芳香剤を作る工作「廃棄物をアロマに変えよう！」も行います。参加者はごみ問題に対して真剣に耳を傾けながら学び、オリジナルアロマ工作では楽しみながら個性あふれる作品を完成させてくれました。

代表取締役

浅野 浩一



2022年度を振り返って

我が社は、2022年2月に50周年を迎え、2022年6月に50周年の式典を行いました。111名もの関係者の皆様にご臨席を賜り、盛大に行うことが出来たことを、心よりお礼を申し上げます。2022年度も利害関係者の方々の声から問題・課題を抽出し、経営方針に沿って計画を立て様々な活動が来ています。

「強い組織をつくる。」及び「未来を築く人財を育成する。」
「明るく楽しく活気ある職場、笑顔ある職場をつくる。」

会社は、ISO9001に加えISO14001の仕組みを取り入れた統合マネジメントシステムの認証、3度目の健康経営優良法人の認定で顧客満足と社員満足を追求していけるものと考え取得しました。中でもISO14001の統合認証により、自社はもちろんのこと、お客様にお役に立てるサービスを提供すべく「環境事業方針」を策定し実行しました。

また、経済産業省が推奨する事業継続力強化計画の認定を頂くことができ、静岡県在住の同業者とお互い様連携として継続的にコミュニケーションを図り続けています。結果として会社全体の業績に繋がり、2021年度に続いて顧客満足も社員満足も追求出来ていると思います。

組織は、事業の特徴を考え環境部門と健康部門に仕分けし、専門チームとして再編することでお客様によりよいサービスを提供することが出来るようになったと見ています。職場改善についても法令を遵守することを念頭に、安全衛生や環境負荷低減、働きやすい職場づくり、成長を導く評価基準も社員が中心となって活動することができ、職場の安心安全も追求出来ていると思っています。

「新たな事業の柱をつくる」「顧客ニーズの創出と提案営業を充実させる。」

事業は、新しい事業を立ち上げるまでは至りませんでした。環境法令順守に関するサービスや職場環境改善に繋がるサービスは構築でき、2023年度から新サービスとして展開できるものと見ています。社会のニーズを捉えやすとエネルギーに関するサービスは優先的に考えていましたが、人員不足のため構築できず、凍結となったことは非常に残念に思っています。

「地域社会の一員として社会に役立つ活動を推進する。」

地域社会への貢献は、ここまでの取り組みにより営利活動は良い方向に進んでいるかと思っています。非営利活動としては、委員会や倶楽部を通じて地域での活動も継続でき、小さいながらも貢献出来ているのではないかと思います。

最後に、2023年度に向けては、これまでの活動を生かし、継続的に実施し、岡山地域や利害関係者の皆様の期待とニーズにお応えして行ければと考えています。引き続き、ご愛顧の程、宜しくお願い申し上げます。

2023年10月1日

代表取締役 浅野浩一

基本姿勢

当社は、企業価値を追求し永続的に生きていくために環境法令を順守し、岡山地域の問題や課題を解決していける高付加価値の事業を提供し続ける。既存事業は様々な負荷をかけながら活動している。活動の結果として環境に影響を及ぼす負荷も発生させていることを自覚し環境負荷の低減に努め、岡山地域での有益な環境活動を推進する。

- ・ 会社マニュアルの手順を守り事業の維持と発展に努める。
- ・ 既存事業の環境負荷を知り、環境負荷の低減に努める。
- ・ 環境法令を理解し手順を定め遵守する。
- ・ 岡山地域への有益な環境活動を推進する。
- ・ 持続可能な事業を企画開発し、以下山地域の発展に貢献する。

環境配慮の設計

一、環境法令の遵守

- ・ 環境法令に関する知識を継続的に学習する。
- ・ 該当する環境法令の管理を手順通りに実施する。

一、新事業開発

- ・ 環境法令を基盤とした事業及びサービスを開発する。
- ・ 環境保全、環境配慮に関する事業及びサービスを設計する。

一、環境負荷の低減

- ・ 過剰な産業廃棄物を低減する。
- ・ エネルギー使用を抑制し、二酸化炭素の排出量を低減する。

一、岡山地域への有益な環境活動

- ・ お世話になっている近隣地域での5 S活動を実施する。
- ・ 地域に根差す若者への学校等を通じて環境教育を実施する。

安全環境責任者

中期経営計画（企業価値の向上計画）

●企業価値

会社及び事業の特徴、業績の推移を分析した結果並びに利害関係者から評価して頂いた結果を踏まえ、存続し続けられる法人（会社）にしていく。組織体制は、資本分離や経営管理と技術管理を分散し複合的な管理を軽減、組織的に専門的な役割を充実させる。

●経営方針・経営計画の変更の必要性

中期経営計画は第53期からの組織体制及び業績の目標を見直し多少修正する。短期経営計画についても順次修正するが、改めて現サービスを維持できる基礎的な専門技術力を高めることを優先し活動していく。

次への改善指示

Action

経営目標

Plan

「強い組織をつくる」及び
「未来を築く人財を育成する」

- ・ 成長戦略を組み立てられる会社及び組織の再編
- ・ 専門技術サービス業としての成長に向けた管理体制
- ・ 組織編制に伴う役割の充実

- ・ 次期中期経営計画（経営戦略）の策定
- ・ 統合MSの運用、法人・事業継続力連携の運用
- ・ 管理監督者の業務定着
- ・ 営業利益：35,000千円以上
- ・ 正社員平均年収：4,200千円以上（24人）

「明るく楽しく活気ある職場、笑顔ある職場を目指す」

- ・ 安全管理及び環境管理の充実
- ・ 全社的なコミュニケーションの充実

- ・ 社員の安心安全（無事故、無違反、無破損）
- ・ 委員会活動の活性化
- ・ 倶楽部活動の活性化

「新たな事業の柱をつくる」及び
「顧客ニーズの創出と提案営業を充実させる」

- ・ 新サービスの運用

※市場や現在の受注を頂ける根拠や理由を分析し提案営業に繋げる。

- ・ 新サービス展開で数値目標を達成
- ・ 提案営業で数値目標を達成
- ・ 付加価値額：287,000千円販売

「地域社会の一員として社会に役立つ活動を推進する」

<営利活動>

- ・ 付加価値の高いサービスを実施する
- ・ 時間外の時間を有効に利用する。
- ・ 有給休暇の取得率をアップする。

- ・ 一人当たり付加価値額：8,697千円（30.0人）
- ・ 時間当たりの付加価値額：4,275円/h（全社平均）
- ・ 時間外労働：45時間/月、有給休暇：70%以上

<非営利活動>

- ・ 岡山地域内での清掃活動や環境活動を活性化する。（5S委員会及びec☆及び倶楽部）

- ・ 表彰されている
- ・ マスコミに取り上げられている
- ・ 依頼され講師や発表をしている

